

2018年度 センター試験 本試験 英語 (リスニング)

第1問

出題範囲	短い会話の内容把握
難易度	★★☆☆☆
所要時間	5分
傾向と対策	例年どおり会話の内容から答えを推測する基本的な問題だった。何段階か計算が必要なものもいつもどおりあった。キーワードをしっかり聞き取って選択肢を絞っていけば確実に点が取れただろう。

問1 正解は ②

スクリプト

M: Look! This picture is from last spring.

W: What a beautiful garden!

M: Amazing, isn't it? And the skyscrapers in the distance.

W: Uh-huh. By the way, who's the woman beside you?

スクリプト訳

男性：見て！ この写真は前の春に撮ったものだよ。

女性：なんて美しい庭園なの！

男性：すごいだろ？ 遠くにある高層ビルもね。

女性：そうね。ところであなたの隣の女性は誰？

問題文訳

彼らはどの写真を見ているのか。

解説

写真に対する女性の感想に対して男性は And the skyscrapers in the distance. 「遠くにある高層ビルも（すごいだろ）。」と言っているため、高層ビルが写っている②と④に絞られる。また、「あなたの隣の女性は誰？」と尋ねられていることから写真には男性も写っているはずなので正解は②である。skyscraper の意味と beside you の聞き取りがポイントになる問題だった。

問2 2 正解は ③

スクリプト

W: Our bill is 85 dollars.

M: I have a fifteen-dollar discount coupon.

W: Remember, mom gave us ten dollars. Let's use that as well.

M: OK, and then we can split the rest.

スクリプト訳

女性：支払いは85ドルだわ。

男性：僕は15ドルの割引券を持ってるよ。

女性：覚えてる？ お母さんが私たちに10ドルをくれたじゃない。それも使いましょ。

男性：わかった。それから残りを割り勘しよう。

問題文訳

2人はそれぞれ自分のお金でいくら払うことになるか。

解説

2人の支払いは合計85ドルであったが、男性が15ドルの割引券を持っており、母からもらった10ドルも使おうと女性が提案している。ここで残るは60ドルになるが、and then we can split the rest.「それから残りを割り勘しよう。」と述べていることから、結局1人が自腹で払うのは60を半分に割った30ドルずつであることがわかる。

各発言で情報が追加されていくので、すべての数字とキーワードをしっかりと拾って計算ミスをしていないのが大事である。

問3 3 正解は ③

スクリプト

M: How's your new job?

W: Well, my boss is OK, and I don't spend much time commuting.

M: But I've heard you often work weekends.

W: Still, I enjoy being with my co-workers.

スクリプト訳

男性：君の新しい仕事はどうだい？

女性：えーと、上司はまあいい人だし通勤にもあまり時間がかからないわ。

男性：でも、君はよく週末に働いていると聞いたよ。

女性：そうだけど、同僚と一緒にいるのは楽しいわ。

問題文訳

女性は彼女の新しい仕事について何と言っているか。

選択肢訳

- ① 社員は週末が休みである。
- ② 仕事に行くのに時間がかかりすぎる。
- ③ 同僚とうまくいっている。
- ④ 上司はよく仕事で出張する。

解説

男性が女性に対して新しい仕事について尋ねている。2人の会話から彼女の仕事についてわかる情報は「上司はいい人」「通勤に時間がかからない」「週末によく出勤する」「同僚といるのは楽しい」の4通りである。よって①②は誤りであり、④については述べられていないことがわかる。正解は③。最後の発言の enjoy being with my co-workers で同僚に対するポジティブな感情が聞き取れれば簡単に選べるだろうし、1つひとつの発言に沿って不適当な選択肢を消去していけば、より確実に解答を絞りやすいただろう。

問 4 4 正解は ③

スクリプト

W: Our shop recommends this new phone.

M: Is there anything cheaper?

W: The earlier model's out of stock but will arrive soon. It's half the price.

M: Could you hold one for me?

スクリプト訳

女性：当店ではこの新型の携帯電話をお勧めしております。

男性：もっと安いものはほかにありませんか？

女性：古いモデルはただいま在庫切れしておりますがすぐに届きます。値段はこの半額です。

男性：1つ私のために取っておいてくれますか？

問題文訳

この男性は何をする予定か。

選択肢訳

- ① 新しいモデルをあとで買う。
- ② 新しいモデルをいま買う。
- ③ 古いモデルをあとで買う。
- ④ 古いモデルをいま買う。

解説

店員が新しいモデルの携帯電話を勧めたのに対し、男性はほかに安いモデルを求めている。新しいモデルの半額であり、取り寄せ中の古いモデルを紹介すると Could you hold one for me? 「1つ私のために取っておいてくれますか?」と頼んでいることから、男性は古いモデルが欲しいことがわかる。古いモデルは out of stock 「在庫切れ」であるのでいま手に入れることはできない。つまり男性は古いモデルが届いたときにそれを買おうとしているので正解は③。

The earlier model's out of stock という女性店員の発言は少し聞き取りにくかったかもしれない。動詞の is が短縮されて 's となっているので所有格と勘違いしないように気をつけよう。out of stock がわからなくても、will arrive soon といっていることからいまこの場にはないと推測できるだろう。これを踏まえて Could you hold one for me? の意味合いを理解することがポイントになる。

問5 5 正解は ②

スクリプト

M: Let's go! The meeting will start soon.

W: We still have plenty of time. Doesn't the meeting start at 2?

M: Yeah, in 10 minutes.

W: Oh no! My watch is 20 minutes behind.

スクリプト訳

男性：さあ行こう！ 会議がもうすぐで始まるよ。

女性：まだ十分時間があるわよ。会議は2時に始まるのでしょうか？

男性：そうだよ、あと10分でね。

女性：あら大変！ 私の腕時計は20分遅れているわ。

問題文訳

女性は何時だと思っていたのか。

解説

会議は start at 2 「2時に始まる」という事実は2人も共通の認識であるようだが、男性が Yeah, in 10 minutes. と言っていることから、会話が行われている時間は 1:50 p.m. であると推測できる。その発言によって女性は my watch is 20 minutes behind. 「自分の時計が20分遅れている。」ことに気づいたので、男性の認識している時間は正しく、彼女の時計は実際の時間より20分遅い 1:30p.m. を表示していたと考えられる。女性は会議までにまだ30分あると勘違いしていたようだ。

以上より正解は②。2人の時間に関する情報を把握し、それを踏まえて瞬時に正しく計算をすることが求められている。焦りは禁物である。

問6 6 正解は ②

スクリプト

W: Our survey shows the number of foreigners visiting our museum has been decreasing.

M: Especially from Europe.

W: But the number from Asia is on the rise.

M: At least that's good news.

スクリプト訳

女性：私たちの調査は、当博物館に来る外国人の数が減ってきていることを示しています。

男性：特にヨーロッパからの数がそうだね。

女性：しかし、アジアからの訪問者数は増えています。

男性：少なくともそれはいいニュースだね。

問題文訳

どのグラフが彼らの会話の内容を表しているか。

解説

女性の最初の発言から、博物館の外国人訪問者数の推移についての話だとわかる。つまり選択肢のグラフの横軸は訪問者数を表しているとすぐにわかり、全体的に数が decreasing しているのは①と②に絞られる。ヨーロッパからの訪問者数が特に減少しており、逆にアジアからの訪問者が増えていると述べているので、その条件を満たすのは②。Especially from Europe という発言では①か②なのかを絞れないが、それに続く But the number from Asia is on the rise. という発言で確実に判断できただろう。

表現

skyscraper 「超高層ビル」

bill 「勘定, 支払い」

discount coupon 「割引券」

split the bill 「割り勘する」

commute 「通勤する」

still 「それでも」

co-worker (= colleague) 「同僚」

earlier 「昔の, 以前の」

out of stock 「在庫切れ」

hold 「取っておく」

behind 「遅れて」

on the rise 「上昇中」

(松永悠希, 吉田春輝, 吉田涼佑)

2018年度 センター試験 本試験 英語 (リスニング)

第2問

出題分野	会話補充
難易度	★☆☆☆☆
所要時間	6分
傾向と対策	2018年度の第2問は、少し解答根拠の弱い問題が数題あったが、全体としては例年と比べて標準的な難易度の問題であった。英文は2回読まれるので、2回目で解答の確認をしたり、1回目で聞き取れなかった箇所がある場合はその部分を集中して聞いたりするようにしよう。また、ここでは聞き取り能力だけでなく文法能力が問われる問題もあったので、英文法もしっかりと学習しておきたい。

問7 正解は ②

スクリプト

W: Ah, Marcos, there you are.

M: I just came back from the store.

W: Did you get everything? How about the batteries?

スクリプト訳

女性：ああ、マルコス、そこにいたの。

男性：ちょうど店から帰ってきたんだ。

女性：全部買った？ バッテリーは？

選択肢訳

- ① ああ、買い物に行くのを忘れてた。
- ② ああ、もう1度言ってくればよかったのに。
- ③ もちろん、バッテリー以外は全部買ったよ。
- ④ もちろん、駅の隣の店だよ。

解説

男性の発言から、男性は何かの買い物に行っていたことがわかる。その次の女性の発言で、買ったものの確認をされているので、次に続く文はそれに対する返事であればならない。「バッテリーは？」という発言内容から、男性は女性にバッテリーを買うよう頼まれていたことが推測できる。これらを踏まえて選択肢を確認していく。男性は「店から帰ってきた」と言っている。つまり実際に買い物に行ったということがわかるため、①は不適である。バッテリーを買ったかどうかを聞かれて、バッテリー以外は買ったと答えるのは不自然であるため、

③も不適である。④については、店の場所を答えており、直前の会話とつながらない。よって④も不適である。残った②だが、少し遠回しな表現ではあるものの、バッテリーを買い忘れたということが読み取れ、会話も成立するため正しい。よって正解は②である。

問8 8 正解は ②

スクリプト

M: Ready to order?

W: No, not yet. Do you have any vegetarian meals?

M: They're on the second to the last page.

スクリプト訳

男性：ご注文はお決まりですか？

女性：いや、まだです。ベジタリアン用の食事はありますか？

男性：最後から2番目のページに載っていますよ。

選択肢訳

- ① わかりました、まったくないんですか？
- ② わかりました、もう少し時間をください。
- ③ わかりました、ここに来るのは2回目ですか？
- ④ わかりました、どれがどれか尋ねてくれても構いませんよ。

解説

会話の内容から、レストランのような場所での会話であり、男性が店員で女性が客だとわかる。また、女性はベジタリアン用メニューを求めており、男性がその場所を女性に教えている。これらを踏まえて選択肢を確認していく。まず①についてだが、女性は確かにベジタリアン用メニューの場所を男性に教えてもらっている。つまり女性はベジタリアン用メニューがあることをすでにわかっているため①では不自然である。よって①は不適である。③と④については、内容から見るにどちらも店員側から客への発言であり、客である女性が店員と思われる男性に対してかける言葉ではないため不適である。②について、女性はベジタリアン用メニューの場所を知ったばかりで、注文をまだ決められていないと考えられるため会話が成立する。よって正解は②である。

問9 9 正解は ④

スクリプト

M: What did you think of the drawing contest?

W: To be honest, I'm kind of surprised Hiroshi won.

M: Right. I thought Ayako had a good chance.

スクリプト訳

男性：絵画コンテストについてどう思う？

女性：正直，ヒロシが優勝したのにちょっと驚いているわ。

男性：そうだね。僕はアヤコが優勝する可能性が高いと思ってたよ。

選択肢訳

- ① もちろん，彼らはコンテストで優勝したよ。
- ② もしあなただったらどうかしら？
- ③ どうして彼らはやってみなかったの？
- ④ あなただけじゃないわ。

解説

会話内容から，男性と女性の共通の知人が出場している絵画コンテストについての会話だとわかる。女性も男性もヒロシが優勝したことに驚いている様子で，男性はアヤコが優勝すると思っていたようだ。これらを踏まえて選択肢を確認していく。①について，theyにあたるのは文脈上ヒロシとアヤコであろうが，男性の発言から，アヤコが優勝したわけではなく，女性の発言からヒロシだけが優勝したことがわかるため不適である。②についてだが，ヒロシとアヤコについての会話の中でいきなり，「男性がコンテストに出ていたら」という仮定の話になるのは少し不自然である。そうなる可能性も考えられないことはないが，あまりその可能性は高くない。ほかにより適した選択肢がなければこれを選ぶしかないだろう。③については，①同様 they が指すのはヒロシとアヤコであろうが，この2人は実際にコンテストに出場しているため，この発言と矛盾する。よって③は不適である。④について，少しわかりにくかったかもしれないが，この発言の意図するところは，アヤコの優勝を予想していたのが男性だけではないということ，すなわち女性も同じようにアヤコが優勝すると予想していたということである。②と④を比べてみて，より違和感なく会話が成立するのは④のほうであるので②は不適，正解は④である。

問 10 10 正解は ④

スクリプト

W: Grandpa, which runs faster, a lion or a tiger?

M: Well, which do you think is faster, Patty?

W: I'm asking because I don't know.

スクリプト訳

女性：おじいちゃん，ライオンとトラはどっちのほうが速く走るの？

男性：ふむ，どっちが速いと思う，パティ？

女性：わからないから聞いてるのよ。

選択肢訳

- ① ああ、私はそのどっちも知らなかった。
- ② ああ、ほかの人に話してもいいよ。
- ③ うーん、彼らはそんなに速くないよ。
- ④ うーん、調べてみようか。

解説

会話内容から、おじいちゃんと孫娘がライオンとトラのどちらが速いかを話している場面だとわかる。孫娘がおじいちゃんに尋ねたあと、おじいちゃんが尋ね返して、それに対し孫娘がわからないから聞いていると答えている。これらを踏まえて選択肢を確認していく。①について、この文中において them が示しているのは文脈からライオンとトラであるが、「どちらの動物がより速く走るのか」と聞かれて「どちらの動物も知らない」と答えるのは不自然であるため①は不適である。②については、おじいちゃんが孫娘に対し、「ライオンとトラのどちらが速いかについてほかの人に話してもいい」と言っている内容であるが、「ほかの人に尋ねてみるといい」ぐらいの内容ならともかくとして、これでは会話が成立しない。よって②も不適である。③も①と同じように「どちらの動物がより速く走るのか」と聞かれて「どちらも速くない」と答えていては会話が成立しないため③も不適である。④については、孫娘に尋ねられたものの自分もわからないおじいちゃんが、一緒に調べてみようと言っている内容である。これについては会話に不自然がなく、成立しているといえる。よって正解は④である。

問 11 11 正解は ④

スクリプト

M: Jane, how many copies do we need?

W: Twenty copies on white paper and twice as many on pink.

M: OK, 20 on pink and 40 on white.

スクリプト訳

男性：ジェーン、コピーは何枚要るんだっけ？

女性：白い紙で20枚、ピンクの紙でその倍よ。

男性：わかった、ピンクが20で白が40だね。

選択肢訳

- ① そうよ、いまのところはね。
- ② そうよ、白が40枚ね。
- ③ えっと、私に白を選ばせて。
- ④ えっと、その逆よ。

解説

この会話は必要なコピーの枚数について話し合っている場面であり、用紙に白とピンクの色があるようだ。女性の発言によると、白が20枚、ピンクがその倍の40枚必要なようだが、男性は聞き間違えて白が40枚、ピンクが20枚必要だと思っている。これらを踏まえて選択肢を確認していく。①と②についてだが、どちらの場合も男性が色の配分を間違えたままであるのにそれを訂正していないのは不自然である。よって①と②は不適である。③については、女性が白を選ぶと言っているのだが、これまでの会話の中にそのような内容はない。よって③は不適である。④についてだが、女性が男性の間違いを正しく訂正しているため会話が成立している。よって正解は④である。

問 12 12 正解は ②

スクリプト

W: So, how was your geography class this term?

M: All right, Mom. It was fun, and I do like maps.

W: Do you think you'll get a good grade?

スクリプト訳

女性：それで、今期の地理の授業はどうだったの？

男性：よかったよ、母さん。楽しかった、それに僕は本当に地図が好きなんだ。

女性：いい成績が取れると思う？

選択肢訳

- ① 授業は満足いくものだと思うよ。
- ② そんなに心配してないよ。
- ③ 幸運なことに、テストに地図が1つも出なかったんだ。
- ④ 母さんが何年生だったとしてもね。

解説

この会話は、少年が母親に地理の授業についての感想を述べている場面である。母親は授業の雰囲気というよりもむしろ少年の成績を気にしているようだ。これらを踏まえて選択肢を確認していく。①について、母親に成績のことを聞かれているにもかかわらず少年は授業の満足度について話している。話を逸らすための発言とも取れないことはないが、少し不自然さは残る。ほかにより適した選択肢がなければこれを選ぶしかないだろう。③では、少年はテストの形式についてふれている。成績の話の直後なので会話が成立していると思うかもしれないが、地図が大好きな少年ならば、テストに地図が出なかったことを「幸運」とは思わないだろう。よって③は不適である。④についてだが、これではまったく意味が通らないため④は不適である。②は、母親の成績についての言及を受けて、「成績についてはあまり不安に思っていない」という発言であるため会話が成立する。①と②を比較しても、②のほうがより自然な会話になっているといえるため、正解は②である。

問 13 13 正解は ①

スクリプト

W: Morning, Steve. Is something wrong?

M: I changed my computer password. Now I can't remember it.

W: I think you told me yesterday you'd changed it back to what it was before.

スクリプト訳

女性：おはよう，スティーブ。どうかしたの？

男性：コンピュータのパスワードを変えたんだ。いまになって思い出せなくて。

女性：あなたは昨日，もとのパスワードに戻したって私に言ってきたと思うわ。

選択肢訳

- ① 僕が言ったっけ？
- ② それがそうしたっけ？
- ③ 僕らがそうしたっけ？
- ④ 君がそうしたっけ？

解説

この会話は、男性がコンピュータのパスワードを変えたが忘れてしまったと女性に話している場面である。女性によると、男性はパスワードをもとに戻したと言っていたようだ。これらを踏まえて選択肢を確認していく。選択肢はどれも動詞が省略されており、会話文中の動詞を補って考える必要がある。②について、it が指示する内容は文脈から password であるが、これまでの文中に password を主語として成立する動詞は見当たらない。よって②は不適である。③についてだが、ここで we に当たるのは男性と女性である。補える動詞としては change, remember, tell が考えられるが、どれも男性と女性 2 人が一緒に行うとは考えられないうえ、会話も成立しない。よって③も不適である。④については、③同様に考え、どの動詞についても主語を女性にしては会話が成立しない。よって④も不適である。①について、tell を補えば、男性が女性に「僕は君にパスワードをもとに戻したということを伝えたっけ」、という確認をするような意味になり会話が成立する。よって正解は①である。

(大西功泰, 吉田春輝, 吉田涼佑)

2018年度 センター試験 本試験 英語 (リスニング)

第3問

出題範囲	会話内容把握
難易度	★★★☆☆
所要時間	10分
傾向と対策	例年どおりの難易度であったが、Aのほうでも正確に情報をすべて聞き取らないとミスをしてしまうような選択肢が用意されていたため、最後まで集中して聞き取る必要がある。またBは聞き取った情報から論理的に考える能力も問われていた。

A

問14 正解は ②

スクリプト

W: What's for dinner tonight, Dad?

M: Hmm, we have vegetables in the fridge for fried rice.

W: You're not going shopping? Then let's eat out.

M: It's pouring outside. I'd rather stay home.

W: What about the restaurant around the corner? I feel like curry.

M: OK, they deliver, and I won't need to cook.

スクリプト訳

女性：今晚の夕食は何にするの、お父さん。

男性：んー、冷蔵庫の中に炒飯をつくるのに要る野菜があるな。

女性：買い物には行かないの？ それなら外で食べようよ。

男性：外は土砂降りだ。僕は家にいたいよ。

女性：角にあるレストランはどうかしら。カレーの気分だわ。

男性：いいよ、あそこは宅配をしてくれるし、料理をしなくてもよくなるからな。

問題文訳

彼らは夕食に関して何をしますか。

- ① レストランでカレーを食べる。
- ② 家でカレーを食べる。
- ③ レストランで炒飯を食べる。

④ 家で炒飯を食べる。

解説

3回目の女性、男性それぞれの発言からカレーを宅配してもらうことがわかる。よって正解は②。女性の提案だけを聞いて、レストランで食べると早とちりをしないように注意しよう。

問 15 15 正解は ①

スクリプト

M: How many books can I borrow from the library?

W: Up to four at a time.

M: For how long?

W: Two weeks, but you can extend the period a week at a time if no one has requested the book.

M: Can I do it online?

W: Sure, but only once for online extensions.

スクリプト訳

男性：図書館からは何冊の本を借りられるんだい？

女性：1度に4冊までよ。

男性：どれくらいの間？

女性：2週間ね、でも誰もその本を予約してなかったら、1度に1週間期間を延長できるわ。

男性：それはオンラインでできる？

女性：ええ、でもオンラインでの延長は1回だけよ。

問題文訳

オンラインではどれくらいの長さ延長できますか？

- ① 1週間
- ② 2週間
- ③ 3週間
- ④ 4週間

解説

2回目の女性の発言で1度に1週間延長できるという情報が聞き取れ、3回目の女性の発言からそれはオンラインでも可能だということがわかる。また、オンラインでできる延長は1回だけであるため、可能なのは1週間のみで、2週間以上はできないことがわかるだろう。

問 16 16 正解は ③**スクリプト**

W: Did you do the homework about interviewing someone you admire?

M: Yes. Who did you interview?

W: My aunt. She's a doctor. How about you?

M: My neighbor. He volunteers at an animal shelter.

W: Good for him! How long has he been doing that?

M: Oh, I'll have to ask him.

スクリプト訳

女性：尊敬する人にインタビューする宿題はやった？

男性：うん。誰にインタビューしたんだい？

女性：自分のおばよ。彼女は医者なの。あなたはどうか？

男性：近所の人だよ。彼は動物保護施設でボランティアをしているんだ。

女性：なんていい人なの！ 彼はどれくらいそれをやっているのかしら。

男性：ああ、彼に聞かないと。

問題文訳

男性は彼の近所の人に関して何を聞き出すでしょうか。

- ① 彼がどれくらいの期間医者をやっているか
- ② 彼がどの病院で働いているか
- ③ 彼がいつボランティアを始めたか。
- ④ 彼は誰のためにボランティアをしているか

解説

3回目の女性の発言で How long has he been doing that? 「彼はどれくらいそれをやっているのかしら。」と聞かれたのに対して、男性は I'll have to ask him. 「彼に聞かないと。」と答えていることから、男性が近所の人に尋ねる内容はこれだとわかる。よって正解は③。How long につられて①を選ばないようにしたい。

表現

animal shelter 「動物保護施設」

B

スクリプト

M: OK, how about a cruise first?

W: Sounds great! It lasts an hour, so we could have lunch after that.

M: This restaurant looks good. It's probably 30 minutes or so from the pier. If we leave right after the cruise, we can get there around noon.

W: Perfect! There's a castle just north of it. What do you think?

M: Yeah……, I was hoping we could take the kids here to feed the rabbits before heading to the hotel.

W: OK, let's visit the castle tomorrow, then.

M: All right. Oh, there's apple picking. Hmm, it's a shame it's too early in the year.

W: Don't forget, we need to be at the hotel by 5:30 for dinner.

M: Right. Look! How about stopping here? It's on the way from the zoo to the hotel. We could take our annual family photo there.

W: Maybe that's too much for one day.

M: I suppose……. Let's do that tomorrow afternoon.

スクリプト訳

男性：じゃあ、クルーズを初めにするのはどうだい。

女性：いいね。1時間かかるから、そのあとランチを食べられそうね。

男性：このレストランがよさそうだ。埠頭からはたぶん30分ぐらいだしね。もしクルーズのあとすぐに出たら、正午ぐらいには着けるんじゃないかな。

女性：完璧ね！ そのちょうど北にはお城があるわね。どう思う？

男性：うん……、ホテルに向かう前に子どもたちをここに連れて行って、うさぎの餌やりをさせられるかもしれないと思っていたんだよ。

女性：わかったわ、ならお城に行くのは明日にしましょう。

男性：了解。ああ、りんご狩りもあるじゃないか。うーん、時期が早過ぎるのが残念だな。

女性：5:30には夕食のためにホテルに着いておく必要があるってことを忘れないでね。

男性：そうだね。見て！ここに寄るのはどうだい。動物園からホテルへ行く道中だよ。例年の家族写真もそこで撮れるだろうしさ。

女性：たぶんだけど、1日でするには多過ぎるんじゃないかしら。

男性：そうかもしれない……、明日の午後にしよう。

問 17 17 正解は ②**問題文訳**

彼らはどのクルーズに最も乗りそうか。

解説

男性が2回目の発言内でクルーズのあとすぐに出たら、正午ぐらいにレストランに着くと言っていることから逆算しよう。同じ発言内で埠頭からレストランまでは30分かかると述べられていることから、クルーズは11時30分頃に終わると計算できる。女性の1回目の発言内でクルーズの所要時間は1時間という情報が聞き取れたため、さらに1時間引いて、クルーズの開始時間は10時30分頃だとわかる。よって正解は②。

問 18 18 正解は ④**問題文訳**

彼らはどのレストランにランチへ行こうとしているか。

- ① 中華料理のレストラン
- ② フランス料理のレストラン
- ③ イタリア料理のレストラン
- ④ メキシコ料理のレストラン

解説

レストランの位置に関して情報が述べられているのは、2回目の女性の発言のみである。レストランを指して There's a castle just north of it. 「そのちょうど北にはお城があるわね。」と述べられているので、地図からレストランは城の真南にある④メキシコ料理のレストランだとわかる。just「ちょうど」という語句を聞き逃さないようにしたい。

問 19 19 正解は ②**問題文訳**

彼らは明日どの場所に行こうと計画を立てているか。

- ① 城と児童動物園
- ② 城と滝
- ③ 児童動物園と果樹園
- ④ 滝と果樹園

解説

まず3回目の女性の発言から彼らは城に明日行くことがわかる。さらに6回目の男性の発言でも Let's do that

tomorrow afternoon. 「明日の午後にしよう。」と述べられていることから、ここで話題になっている場所も彼らは明日訪れようとしているとわかる。ここで話題になっている場所は男性の5回目の発言から、動物園とホテルの間の場所だとわかった。地図からそのような場所は falls 「滝」だとわかる。以上から適する選択肢は②。

表現

pier 「棧橋, 埠頭」

(吉田春輝, 松永悠希, 大西功泰)

2018年度 センター試験 本試験 英語 (リスニング)

第4問

出題範囲	モノローグと3人の学生の会話
難易度	★★★★☆
所要時間	10分
傾向と対策	2018年度は昨年度と同じく、AとBともに長い放送文を聞いて3つの問いに答える形式となっている。リスニングでよくあることだが、今回も会話文で出てくる単語に何かしら絡めたひっかけの選択肢がたくさんあった。設問で聞かれていることを把握しておき、またBに関しては発言者とその発言内容をしっかり関連づけられれば間違えないだろう。今回のように同性の話者が2人いる場合は混同しやすいかもしれないが、声色や声の高低に気をつけるなど、発言内のヒントから話者を逆推測することもできるので落ち着いて聞こう。

A

スクリプト

When I was an exchange student in Japan over 20 years ago, I lived in a dormitory. It was an unforgettable, transforming experience. Several things bothered me during that time, though. Learning Japanese, performing dorm duties, and obeying dorm rules were especially troublesome. For example, there was a curfew, which meant we had to return no later than 10 in the evening. One of the duties was cleaning the floors and the bathroom. I wouldn't have minded, but it had to be done before everyone else got up. Telephone duty was another annoying responsibility. Mobile phones weren't available back then. Amazingly, the only phone was on the first floor, and we took turns answering it. I knew having a phone in each room was too costly, but surely a phone on each floor would've been reasonable. Many of these duties and rules felt like burdens to me. Although it was a huge challenge communicating in a foreign language and dealing with these obstacles, it turned out to be beneficial for me. It forced me to improve my language ability and adapt very quickly. I realize now that overcoming these difficulties helped me grow up and become a more responsible person.

スクリプト訳

私が20年以上も前に交換留学生で日本に来ていた頃、私は寮生活をしていました。それは自身を変えた、忘れない経験だった。いくつかのことがその当時私を悩ませていたけれども、日本語を学ぶこと、寮の仕事をこなすこと、寮の規則に従うことは特に面倒なことだった。例えば、寮には門限があり、それは夜の10時より前に戻らなければならないというものだった。仕事の1つには床と洗面所の掃除があった。私はそれが別に

嫌だったわけではないが、ほかのみんなが起きる前に終わらせなければならなかったのだ。電話業務もいらいらする責務だった。その頃は携帯電話が普及していなかったのである。驚いたことに、唯一の電話は1階にあり、私たちは交替で電話に出ていたのだ。各部屋に電話があると費用がかかり過ぎるのは理解できたが、各階に電話を1つずつ置くことはきっと妥当(手頃)なことであつたはずである。これらの仕事や規則の多くは私にとって重荷のように感じられた。外国語で意思疎通することやこれらの障害に対処することは非常にきついことだったが、私にとって有意義なことになった。それによって私の語学力は向上したし、すぐに環境に適応することにもなった。これらの困難を乗り越えることで私はより責任感のある人間に成長できたのだといまになって気づいた。

問 20 20 正解は ④

問題文訳

掃除に関して話し手を煩わせたものは何か。

- ① 指示に従うこと
- ② 午後10時より前に戻ること
- ③ 床を掃くこと
- ④ 早く起きること

解説

Several things bothered me during that time とあり、しばらくして One of the duties was cleaning the floors and the bathroom. が聞こえると、面倒な寮仕事の1つである cleaning の話がやっと始まるとわかる。間が長いので情報量が多かったかもしれない。しかしポイントは次に続く I wouldn't have minded というフレーズと、そのあとの but it had to be done before everyone else got up. という内容である。つまり床やトイレの掃除自体は嫌ではないのだが、みんなが起きる前に(自分が起きて)掃除を終わらせるのが面倒だったということである。選択肢ではこれを「早起きをする」と表現してあつた。したがって③は誤りで④が正解だと推測できる。①の instructions に関して、cleaning の話で誰かの指示があつたかについて言及はなかつたので、不適切。②はそもそも門限の話で cleaning とは特に関係がないので消去できる。

問 21 21 正解は ④

問題文訳

寮の電話に関する話し手の意見は何か。

- ① 携帯電話の使用は認められるべきであつた。
- ② 携帯電話はもっと安くあるべきであつた。
- ③ 電話は各部屋に設置されるべきであつた。
- ④ 電話は各階に設置されるべきであつた。

解説

Telephone duty was another annoying responsibility.以降が電話に関する話である。携帯電話も使えない頃、寮の電話は1階にしかなかったそうである。I knew having a phone in each room was too costly, but surely a phone on each floor would've been reasonable.が聞き取るべき箇所。ここが理解できれば、③は誤りで④が正解であるとわかるだろう。

①と②に関しては Mobile phones weren't available back then. という文で引っ掛かるかもしれないが、ここではそもそも「電話機を各階に1つずつ設置してもいいはずである」というのが話し手の意見であり、携帯電話をどうこうしてほしいといった内容ははっきり述べられているわけではないので考えなくてもよいだろう。

このように、リスニングで解答を選択する際は深く考え過ぎず、できる限り放送文で明言されている内容にもとづくようにするのが安全策である。

問 22 22 正解は ③

問題文訳

この話に最適なタイトルは次のいずれか。

- ① 厳格な日本の寮制にいかにか挑んだか
- ② 日本の寮の規則をいかにか改善したか
- ③ 日本の寮で生活する間にいかにか成長したか
- ④ 電話なしに日本の寮でいかにか生き残った(切り抜けた)か

解説

これは話し手の男性が日本で留学していた時の寮生活を回想したものである。最初のほうで It was an unforgettable, transforming experience. と話しているが、transforming experience というのはしばしば「自分を変える経験」という意味で使われる。全体的には、寮の仕事や規則が煩わしくて負担であったことが具体例を交えて語られているが、最後のほうではこれらの経験が結局は男性にとって beneficial であったと述べられている。I realize now that overcoming these difficulties helped me grow up and become a more responsible person. という締めが聞き取りポイントである。前半の話だけなら①を選んでしまいそうだが、transforming とあるように、話し手が最終的に伝えたかったのは日本寮による自分の成長であるので、③が正解になる。②、④に関する話はまったくなかったので不適切。

表現

transforming 「一変させる」

curfew 「門限」

don't mind A 「Aが嫌いでない」

B

スクリプト

Tokiko: Thanks for coming to the meeting. The international programs office has asked us to put together a booklet for students going abroad. Since all of us have studied abroad, they think our suggestions will help other students get ready. Justin, what do you think we should include?

Justin: Well, Tokiko, we need to focus on practical items first. For instance, sometimes it takes a while to get passports and visas. We could suggest they start that process early. Also, they'll need a health check and travel insurance. Karen, did you have something to add?

Karen: Yeah, I'm thinking about cultural aspects. Don't they need to know some history or study about the society and learn the local customs long before they leave? Maybe they should consider these things in order to choose a country of destination.

Tokiko: That's right, Karen. Preparing to live there has to come first. Also, what they pack in their suitcases depends a lot on where they go. That's a really fun part—deciding what to take. In my experience I was glad I took light clothing I could wear in layers, rather than heavy, winter clothes.

Justin: OK, but there are still other things to do before you actually pack. What about airline tickets? Getting tickets early can save money, and there'll be more choices of dates. So I think that also needs to be on the list.

Karen: That's true, Justin, but you really shouldn't buy tickets until you're sure you have permission to live there……. Oh, I know what else we could do! Maybe we can include short essays or personal stories about our experiences and host families. It might help students get mentally prepared.

Tokiko: That's an option……. Well, we're getting there, but we still have a long way to go.

スクリプト訳

トキコ : ミーティングに来てくれてありがとう。私たちは国際プログラム事務所に外国に行く学生のための冊子をつくるよう頼まれたの。私たちはみんな留学経験があるから、私たちの提案がほかの学生たちの準備に役に立つと考えているの。ジャスティン、何を含めるのがいいと思うかしら？

ジャスティン : そうだな、トキコ、まずは実用的な品目に焦点を当てるべきだね。例えば、パスポートやビザ取得するのに時間がかかることがときどきあるんだ。学生たちがその手続きを早めに始めることを勧めてもいいと思う。あと、健康診査と旅行保険も必要になるよ。カレン、ほかにつけ加えることはない？

カレン : ええ。私は文化的側面を考えているわ。彼らが旅立つずっと前に、歴史についていくらか知識をもつことや社会について調べて現地の慣習を学ぶことが必要じゃないかしら？ 行き先の国を選ぶためにこれらのことを考慮しなければならないかもしれないわ。

トキコ : そのとおりね, カレン。現地で生活するための準備が最優先されるべきだわ。それに, スーツケースに何を詰めるかも行き先次第で大きく変わるよね。何を持っていくか決めること, それが本当に楽しいところなの。私の経験では, 重い冬服じゃなくて重ね着できる薄手の服を持って行ったのが幸いだっただわ。

ジャスティン : そうだな。でも実際に荷造りする前にほかにまだやることがあるよ。航空券とかは? チケットを早めにとるとお金を節約できるし, 日程の選択肢も多くなるんだ。だから, それもリストに載せるべきだと思う。

カレン : そうね, ジャスティン。でもそこで生活する許可を得るのが確定する前には航空券を絶対買うべきではないわ。そうだ, ほかに私たちができることがわかったわ! 自分の経験やホストファミリーに関する短編エッセーや個人の話盛り込むのとかはどう? 学生たちが心の準備をするのに役立つかもしれないわ。

トキコ : それもありね……。えーと, だいぶ目標に近づいてきたけどまだ道のりは長いわね。

問 23 23 正解は ④

問題文訳

ジャスティンが最も関心をもっているのは何か。

- ① 学問的な準備
- ② 文化的な側面
- ③ 個人の安全
- ④ 旅行の手配

解説

最初の登場人物が Justin, what do you think ~? とやっていることから, 2人目の話者が「ジャスティン」であるとわかる。したがって彼の発言に注意を向ければよい。

ジャスティンは「実用的な面」を重視していて、「パスポート, ビザ, 健康診査, 旅行保険, 航空券」などの早期準備の必要性を説明している。ジャスティンは2回発言をしているが, 両方とも旅行に必要な手続きの話である。これらの内容に最も近い表現が④の「旅行の手配」。このように会話の中ではっきりと述べられていない表現で選択肢がつくられることが多いので, 発言内容を要約して把握することが求められる。

①, ②はカレンの発言に近い。③の「個人の安全」は健康診査や旅行保険の話を絡めていると考えられるが, ジャスティンの発言全体で見ると安全確保がメインで言いたいことではないことはわかるだろう。

問 24 24 正解は ②

問題文訳

荷物に詰めるものに関するトキコの助言は何か。

- ① 旅行を続けるために十分なお金を持っていく。
- ② 行き先の気候を考慮する。
- ③ スーツケースが重過ぎないことを確認する。
- ④ 経験したことを書くために日記を持って行く。

解説

ジャスティンが1人目の話者に応じて Well, Tokiko, ~ と始めているので最初の進行係がトキコであるとわかる。トキコの2回目の発言で Also, what they pack in their suitcases depends a lot on where they go.と述べられており、行き先と荷造りの話をするのでここが答えになりそうだとわかる。彼女は経験談として、持っていく衣服の厚さや重さについてふれていることから、行き先の気候に対応した服の準備が大切であると考えているようである。

ここで聞くべきポイントは、I was glad I took light clothing ~ rather than heavy winter clothes.であり、厚手の冬着を持って行ったら大変だっただろう、という意味を含んでいることがわかればよい。ただし heavy という単語を聞いて反射的に③を選んでしまわないこと。先ほども述べたように、ここはあくまでも「行き先と荷物」の話であるので、行き先と関連のない③は消去できる。

以上より②が正解だとわかる。

問 25 25 正解は ④

問題文訳

この会話を最も適切に説明しているのは次のいずれか。

- ① みんなが個人的なエピソードを共有した。
- ② 明確な結論に至った。
- ③ 海外留学の価値について議論した。
- ④ それぞれが異なる点を強調していた。

解説

海外経験のある3人の学生が、留学する学生を対象にしたパンフレットに盛り込むべき内容について自分の考えを述べているというものだった。問23でもあったようにジャスティンは一貫して「旅行に関する手続きの早期準備」を重視しており、カレンは「行き先の歴史や慣習に関する知識の予習」と「経験談の共有による心の準備」について話している。トキコは「行き先を考慮した荷造り」を意見として述べた。3人とも意見を述べる前に That's right / OK / That's true などと軽く相槌を打ってはいしたが、続けて but と逆接を入れて自分の考えをより強調していることから、それぞれ異なる点に着目しているとわかるので④が正解だとわかる。

①に関して、これは設問をあらかじめ読んでいないと聞き落とすかもしれないことだが、実際に自身の経験談に言及していたのはトキコ (In my experience, ~) だけなので不適切。

トキコによる最後の発言で「それもありね……。だいぶ目標に近づいてきたけどまだ道のりは長いわね。」と進行状況について話していることから、まだ議論に完全な決着はついていないとわかる。したがって②は誤りである。

③の「海外留学の価値」については話し合いでまったくふれられていないことなので、すぐに消去できる。

表現

put together A 「A (本など) をつくる, まとめる」

insurance 「保険」

wear in layers 「重ね着する」

that's an option 「それも手である (積極的評価)」

get there 「目的を達成する」

(松永悠希, 吉田春輝, 吉田涼佑)